三三三案内

●交通科学博物館「コウハク家の歴史～昭和レトロの暮らしと、のりもの物語～」

同館の開館五十年を記念しての企画展。昭和三十～四十年代の交通（航空機・船舶・自動車・鉄道）にスポットを当て、架空の家族を通して①家庭と乗り物②居間・駄菓子屋・煙草屋・遊び③運賃や価格④流行の衣・食・住―等を辿る―**写真は大阪駅での特急「こだま」出発式（昭和33年）**。関連展示「昭和三十～四十年代港区メモリー～交通科学館が開館したあの頃～」。大阪市交通局、港区役所、港新聞等が協力。一月二十一日～五月二十七日▽十～十七時入館、月曜休館（祝日なら開館し翌火曜休、火曜も祝日なら振替休なし）。高校生以上四百円、四歳～中学生百円。JR弁天町駅すぐ。☎六五八一―五七七一。

●関西フィルハーモニー管弦楽団「第235回定期演奏会」

「シベリウス最後の弟子として多くを学んだ」という首席指揮者・藤岡幸夫―**写真右**（Ⓒ Masa）のシベリウス・ツィクルス第一夜。ピアノはチャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクールに入賞した唯一の日本人、小山実雅恵―**写真左**（Ⓒ Akira Nanashima）。演奏曲目は①ブラームス：ピアノ協奏曲第1番二短調作品15②吉松隆：朱鷺による哀歌③シベリウス：交響曲第7番ハ長調作品105。二月三日（金）十九時からザ・シンフォニーホール（JR福島駅）で。十八時四十分から指揮者プレトーク。S五千円（完売）、A四千円、B三千円、学生千円。☎六五七七―一三八一。

●港図書館　①図書展示「働くことについて考える本」展―二月末まで開催中。格差社会、ワーキングプア、ニートなど労働をとりまく社会問題が浮上する中、「働く」ことをテーマにした本や〝お仕事小説〟を集め、展示。展示リストあり②おたのしみ会―幼児を対象に毎週水曜十五時半～十六時。絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、手遊び、わらべうたの紹介など。申込不要③あかちゃんのおたのしみ会―赤ちゃんと保護者を対象に毎月第一金曜十一時～十一時半。赤ちゃんが絵本に親しめるよう工夫。申込不要▽☎六五七六―二三四六。

●弁天シネマ倶楽部第20回『嵐が丘』　イングランド北部の農場主一家に雇われた孤児ヒースクリフ。冷酷な虐待の中で唯一の心の支えは美しく成長した娘キャッシーだった。互いに激しく惹かれながらも彼女は裕福な家の嗣子との結婚を承諾。傷心の彼は突然姿を消す。数年後、彼女の前に姿を現したのは、事業に成功し、立派な紳士となったヒースクリフだった。復讐に燃える悲運な人間の愛を格調高く描いたE・ブロンテ原作の映画化―**写真は一場面**。監督はW・ワイラー。出演はL・オリヴィエ、M・オベロン他。三九年米。一月二十一日（土）十時と十四時。各回当日先着百名。一人六百円（前売五百円）。☎六五七七―一四三〇。

●いずみシンフォニエッタ大阪「抑圧からの挑戦！」～旧ソ連、体制下の傑作～

池島出身のオーボエ奏者・古部賢一さん―**写真**―をメンバーとする同楽団の定期演奏会。指揮は飯森範親。演奏曲目は①新実徳英：室内協奏曲第2番TERRA（委嘱新作・初演）②ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番作品35ほか。一月二十八日（土）十六～十八時にいずみホール（JR大阪城公園、地下鉄OBP）で。一般五千円、学生千円。☎六九四四―一一八八。

●港近隣センター　①港近隣寄席―一月二十七日（金）十四時から。出演は桂鯛蔵（二席）、笑福亭松五。定員五十名（当日先着順・申込不要）。協力金五百円②懐かしの名画大会『赤い河』―H・ホークス監督。出演はJ・ウエイン、M・クリフト他。二月十日（金）十四時から。協力金百円▽同センターは八幡屋一―四―二〇（入舟公園隣）。☎六五七二―〇〇二〇大阪市コミュニティ協会港区支部協議会。

●シネ・ヌーヴォ「巨匠・今井正の世界」　日本映画界最大の巨匠の一人、今井正監督の生誕百年を記念。人間ドラマを丁寧かつ抒情豊かに描きながら社会正義を訴えた生涯作品から戦後の代表作を上映。一月十五～二十七日の上映作品は『また逢う日まで』―**写真**―『にごりえ』『真昼の暗黒』『キクとイサム』『不信のとき』『橋のない川』『橋のない川第二部』『婉という女』『海軍特別年少兵』『小林多喜二』『妖婆』『あにいもうと』『子育てごっこ』『戦争と青春』。当日一般千四百円。上映時間など詳細は同館（地下鉄九条⑥出口、☎六五八二―一四一六）へ。

●画廊リバリア　平和の願いをキャンバスに込めて絵画人生を送ってきた川島恵美子さん（八幡屋）が昨年十一月開設。一階は常設展、二階はアトリエ。月～金曜十一時～十六時開館。三先二―一三―二八（みなと通沿い、地下鉄朝潮橋駅すぐ）、☎七五〇二―四一八八。

ひとくちPR

（1行＝税込1000円）

●貴方の人生を冊子に　聞き取り・文章化料金は四百字（原稿用紙一枚）千円が標準（冊子五冊まで無料）。☎6571・4636港新聞

読者プレゼント

※いずれもハガキに今月号の感想とプレゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。

●交通科学博物館（上段に案内）招待券をペア2組に。

●関西フィル「第235回定期演奏会」（上段に案内）招待券をペア1組に。

●弁天シネマ倶楽部『嵐が丘』（上段に案内）招待券をペア2組に。

●ごくらくとんぼ一座『平次またまた飛び出す』（7面に案内）招待券ペア2組に。

●シネ・ヌーヴォ「巨匠・今井正の世界」（上段に案内）招待券をペア2組に。

平和のため 戦争体験 語り継ごう

原爆で地獄絵の広島

連日の救援、自らも死の淵

今月の語る人　庄野正さん（93）（築港）〈中〉

（前号あらすじ）　三年間の陸軍生活を終えた私は昭和十六年十二月の日米開戦で再び兵役に就き、船舶砲兵として南方を転戦。戦況悪化の中、撃沈船救助では少数を見殺しにせざるを得ない状況も経験した。昭和十九年九月に命令で広島へ。そして二十年八月六日―）

八月六日の朝。私は連絡のため広島市郊外の分遣隊から市内宇品町の暁部隊へ向かう電車に乗っていました。その途中の八時十五分、千田町付近（爆心から一・五キロ）で突然ピカッと強烈な光が目を射ました。あっと驚く間もなく、爆発音と同時に爆風が襲い、立っていた車掌台から車内の前方まで吹き飛ばされました。

◆「兵隊さん熱いよう」

無我夢中で車外へ這い出し、真っ暗闇の中で路上に伏せていました。どの位時間が経ったのか、周囲が明るくなったのを感じて頭を上げ、辺りを見回しました。その時の光景は今も瞼に焼き付いて離れません。建物という建物はみな倒壊し、火に包まれていました。その中を鷹野橋方面から中学生位の子供たちが腕を前に上げ、裸体の上半身から焼けた皮膚を垂らし、頭は椀を被ったような異様な姿で続々と歩いて来るのです。

「一体何があったのか」。一刻も早くこの状況を本隊へ知らせなければと歩きかけましたが、体が動きません。子供たちはこちらを見ると「兵隊さん、熱いよう」「助けて下さい」「水を下さい」と哀願します。が、どうしようもありませんでした。その時の光景を思い出すと、可哀想で、今でも目頭が熱くなります。

◆「仇を討って下さい」

爆風で飛ばされた時に痛めたのか、思うように動かない身体を引きずり、ようやく本隊に到着すると、救助隊編成が始まっていました。上官は「お前は怪我しているから休養しろ」と命じました。が、被害の状況を見てきただけに従う訳にはいきません。私は上官の配慮を返上し、部下十人を連れて指示された文理大グラウンドへ向かいました。

ごうごうと音をたてる炎に包まれた広場には、夥しい数の被災者が逃れて来ており、その光景はまさに地獄絵でした。頭から血を流し横たわる人、大声で喚きながら歩き回る人、眼球が鼻の辺りまで飛び出し、それを手で支えながら泣いている女の子、死んでいる我が子を抱え、自分も火傷で息絶え絶えの母親……。

人々は口々に「兵隊さん、助けて」「水を飲ませて下さい」「この仇は必ず討って下さい」と叫んでいます。「元気を出すんだぞ」と答えながら次々と担架に乗せて御幸橋まで運びました。何回、何十回…どれだけの搬送を繰り返したことでしょう。

◆脱毛と猛烈な下痢に

翌日も翌々日も各所で救助を続けましたが、十日目位から今度は自分が死の淵へ追いやられました。脱毛と共に猛烈な下痢に襲われ、一日に何十回も便所に走り、脱水症状で気を失ったのです。気が付くと戦友たちが「班長、一時は駄目かと思いましたよ」と言っているのが聞こえました。相当重症だったようですが、軍医の懸命の手当てもあって、私は何とか一命を取り留めることが出来ました。

そんな最中の八月十五日、日本は連合国に無条件降伏し、戦争は終わりました。が、私は九月中旬に復員するまで、寝た切りの病人でした。（つづく）

銭湯へ行こう！

水も火力も大事な資源。みんなで使えば無駄がない。銭湯はだれにもできる最高の省エネ！

みなと銭湯ファンクラブ（港新聞内）

地域まるごと健康づくりへ　スタッフ募集！　わかい職員が多い職場です

職　種	勤務場所	雇用形態	処　遇	備　考
介護支援専門員	ケアプランセンター	常勤	元職・前歴で優遇	
介護福祉士	デイケアセンター	常勤	19歳・月172200円～	要運転免許
ヘルパー	ヘルパーステーション	非常勤	時給1200円	登録型
	グループホーム	非常勤	時給830円～	シフト制あり
	デイサービスセンター	非常勤	時給830円～	
看護師	みなと生協診療所	パート	時給1600円～	朝8:45～16:30 夜17:45～20:15

★病弱者のための共同住宅『ふきのとう』一室空きあり、入居者募集★

～医療・福祉のネットワークで安心して住みつづけられるまちづくりをめざします～

港区磯路3丁目3番4号　港医療生活協同組合　☎6571-5594（担当:姉川）

事業拡張につき スタッフ大募集　明るい職場です

事務正社員
給与　月給165,000円～
時間　9:00～17:00
休日　日曜・隔週土曜
待遇　各社保完、交通費支給、皆勤等諸手当

ケアマネジャー
給与　時給1,400円～1,600円
時間　相談に応じます
休日　日曜・隔週土曜
待遇　経験・能力により優遇

♪まずはお気軽にお電話の上、履歴書（写真貼付）ご持参下さい♪

困ったことはありませんか？　ケアプラン　訪問介護　福祉用具　住宅改修　介護のことならお任せ下さい！

㈱ケアプランセンター あんしん倶楽部
0120-80-0126　弁天4-12-10